

仙台第一高等学校

校訓 自重 献身



1 基本データ

創立：明治25年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：949名
所在地：〒984-8561
仙台市若林区元茶畑4番地
TEL：022-257-4501
FAX：022-257-4503

ホームページアドレス：
<https://sendai1.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
sendai1@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
◆仙台市営地下鉄東西線：連坊駅下車 徒歩 1分
南北線：五橋駅下車 徒歩 15分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

次代を担うリーダーを育成

質の高い授業、伝統と資産を生かした進路支援、発起人制度による特色ある学校行事などを通して、将来社会においてリーダーシップを発揮し、活躍・貢献できる、心身ともに健康で器の大きな人を育てます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、明治25年4月1日、宮城県尋常中学校として創立されました。初代校長は、国語辞書『大言海』の編集で知られる大槻文彦先生です。校舎は、最初は清水小路、次いで南六軒丁、そして明治41年に元茶畑に移り、現在に至っています。校名は、宮城県第一中学校、宮城県仙台第一中学校を経て、昭和23年4月に宮城県仙台第一高等学校となりました。平成4年12月には校舎の全面改築が終わり、翌年2月に、創立100周年・校舎落成記念式典が行われました。また、平成6年4月に第二運動場、平成10年3月にプール、平成11年8月に体育館、平成15年4月にテニスコートが竣工しました。平成22年4月に男女共学となり、令和6年度は在籍949名中、518名が男子です。令和4年10月には創立130周年記念式典が行われ、全日制課程の卒業生は3万3千名以上に及んでいます。平成24年度には、文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定校となり、現在は継続3期目となっています。

(2) 教育方針

校訓『自重以テ己ヲ律シ 献身以テ公ニ奉ズ』(明治39年6月6日制定)に基づき、教育目標として「教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成を目指し、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に充ちた心身ともに健康な、国家及び社会の有為な形成者を育成する」ことを掲げ、学校としてその実現に向け日々努力を続けています。具体的には、1学年での幅広い教科学習の上に立って、2学年・3学年では、大幅な教科・科目選択制の下で、生徒各自の進路希望に応じた学習に取り組むこと、生徒全員が必ず部活動に所属して活動し、学習との両立を目指すこと、発起人制度を取り入れた生徒の活動

および学校行事において、生徒が自主的・意欲的に活動することなどです。

(3) 教育課程の特色

将来、生徒が社会で活躍していくために必要な幅広い視野と教養を身に付けることができるようにするとともに、ほとんどの生徒の希望である大学進学にも十分に対応できる教育課程を編成しています。

1学年では、幅広い教科を共通に学習することを基本とし、2学年からは、生徒各自の進路希望に応じて文科系と理科系とに分かれ、3学年では、さらに具体的な進路希望に応じた教科・科目を学習できるように、大幅な教科・科目選択制を取り入れています。

また、平成22年度より授業1コマを55分とし、その特徴を生かした授業を行っています。生徒の進路希望の実現のために、授業時数を確保するとともに、例えば、国語や英語では長い文章をじっくりと読んだり、数学では問題演習を多く取り入れたりするなど、プラス5分を活用した質の高い授業を展開しています。また、SSH指定校として複数の学校設定科目を設け、「学術研究」など特色ある授業を行っています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

本校では、次のような特色ある学校行事を実施し、生徒が自己を見つめ、互いに磨きあう機会の一つにしています。4月下旬の運動祭では、各学年縦割りの8チームを編成し、ユニークな競技と応援とを競い合います。5月中旬の仙台一高・二高硬式野球定期戦は、社の都仙台の春の風物詩として知られ、応援合戦にも力が入ります。10月中旬には、学校から秋保温泉までの約35キロを6～7時間かけて歩走する強歩大会があります。美しい自然に囲まれながら浩然の気を養い、心身の強さや完歩した爽快感を実感できます。この他にも一高祭、校内競技大会、芸術鑑賞会、東北大学学部学科説明会など多彩な行事があり、充実した学校生活を送ることができます。

生徒の活動は、生徒総会を中心に、評議委員会、総務委員会、会計委員会、文化委員会、特別委員会などの組織を通じて、自主的・民主的に運営されています。また、大きな特色として、発起人制度があり、運動祭や一高祭などの行事、生徒会誌『創造』の編集では、企画・運営を希望する生徒が発起人となり、生徒総会の承認を得て公的な立場を与えられ、

積極的に活動しています。

部活動は全員加入制となっており、生徒は運動部(23)、学芸部(21)のいずれかに所属し、学習と部活動の両立、「文武両道」を合言葉に熱心に日々の活動に取り組んでいます。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
国立大学	154	169	160
私立大学	52	56	58
専各学校	3	2	0
就職	0	0	0
その他	106	86	94
卒業生計	315	313	312

主な進路先(令和6年3月卒業生)
()内は人数 (1)は省略

<国立大学>

帯広畜産大、北海道大(3)、弘前大、岩手大(9)、東北大(42)、宮城教育大(9)、秋田大(2)、山形大(27)、福島大(3)、茨城大(3)、筑波大、宇都宮大(3)、埼玉大(2)、千葉大(8)、東京大(2)、東京学芸大(4)、東京芸大、東京農工大、新潟大(2)、富山大、福井大、名古屋大(2)、神戸大、奈良女子大、鹿児島大、琉球大、はこだて未来大、岩手県立大、宮城大(9)、国際教養大、福島県立医大(4)、高崎経大、長岡造形大(2)、長野大、愛知県立大、兵庫県立大

<私立大学>

東北学院大(11)、東北工大、東北医薬大(6)、東北芸術工大、青山学院大(2)、北里大(2)、慶応大、国際基督教大、駒澤大(3)、上智大、成蹊大、中央大(2)、東京電機大、東京理大、東洋大、日本大(2)、法政大(2)、明治大(3)、明治学院大(2)、立教大、早稲田大(5)、関西大、関西学院大

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍 (R5 部活動 東北大会/全国大会)

《運動部》

- ・弓道 (男子個人) 東北大会2位 全国大会出場
- ・剣道 (男子団体・個人) 全国大会出場
- ・硬式野球 東北大会出場 選抜高校野球 東北地区21世紀枠候補校
- ・柔道 (男子90kg級) 東北大会出場
- ・水泳 男子4×100m自由形R・4×200m自由形R・4×100mMR・100m自由形・200m自由形) 東北大会出場 (女子50m自由形・100m背泳ぎ) 東北大会出場 (男子50m自由形) 東北大会4位 (男子100m背泳ぎ) 東北大会5位 (男子200m背泳ぎ) 東北大会6位
- ・軟式野球 東北大会3位
- ・フェンシング (女子個人フルール・エペ) 東北大会出場 (女子個人サーブル) 東北大会3位 全国大会ベスト16 (女子サーブル団体) 東北大会2位 全国大会ベスト16
- ・陸上競技 (男子4×100mR) 東北大会4位・全国大会出場 (女子4×100mR) 東北大会5位・全国大会出場 (女子4×400mR) 東北大会3位・全国大会出場 (男子100m) 東北大会2位・全国大会出場 (男子200m) 東北大会1位・全国大会8位 (女子400m) 東北大会4位・全国大会出場 (女子100mH) 東北大会8位 (女子400mH) 東北大会1位・全国大会2位 (女子やり投) 東北大会4位・全国大会出場 (男子800m) 東北大会7位 (女子100m・200m) 東北大会出場 (女子100mH) 東北大会6位 (女子走幅跳) 東北大会7位
- ・ヨット (女子レーザーラジアル級) 東北大会2位・全国大会出場
- ・少林寺拳法 (男子自由組演武 男子規定単独演武 女子規定単独演武) 全国大会出場

《学芸部》

- ・将棋 全国高校総文祭将棋大会・全国高校将棋竜王戦 全国新人大会出場権獲得
- ・囲碁 全国高等学校囲碁選手権大会出場
- ・放送 高等学校放送コンテスト新人大会 アナウンス部門 ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門 東北大会出場
- ・物理 ロボットアイデア甲子園東北大会 リコーインダストリー賞 全国高校総文祭自然科学部門出場
- ・クイズ研究 All Japan Quiz League 2023 全国大会ジュニアの部出場
- ・鉄道研究 全国高等学校鉄道模型コンテスト ベストクリエイティブ賞

(2) スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術系人材を育成するための取組として、文部科学省が全国200校程度の学校を指定して行っている事業のことで、本校は、平成24年度からの第I期、第II期の10年に引き続き、令和4年度から第III期5年間の指定を受けました。全生徒を対象に、校訓「自重献身」標語「自発能動」を国際社会で具現化しうる人材を輩出することを目指し、学校設定教科「学術研究」における課題研究を中心とする、さまざまな取組を行っています。



SSH 学術研究発表会(川内萩ホール)

(3) 主な学校行事

《運動祭》

4月下旬の爽やかな気候のもと開催されます。8つの縦割りクラスによって各競技が行われ、年度はじめのクラスや学校全体の団結力を育む大切な行事になっています。



す。令和5年度は「騎馬戦」「綱盗り」「障害物競走」「棒倒し」「大量リレー」の競技が行われました。パフォーマンスや仮装などもあり、大いに盛り上がります。

《仙台一高・二高硬式野球定期戦》

令和6年度で戦後第79回を迎える伝統ある行事です。開催数日前に両校の大勢の生徒が街中をアピール行進し、雰囲気盛り上げます。定期戦は5月中旬に楽天モバイルパーク宮城で開催され、両校の伝統ある全校応援合戦も見ものになっています。令和5年度も一高が優勝し、3連覇を成し遂げました。



第78回定期戦(R5.5.13)

《一高祭》

夏季休業直後に開催されます。学芸部や有志によるステージ発表、展示発表のほか、水泳部による「ウォーターボーイズ&ガールズ」の公演も行われます。出店、装飾、校内生限定の夜祭、校庭でのストームも一高ならではのイベントです。



《強歩大会》

秋の景色を満喫できる10月中旬に開催されます。全校生徒が早朝に学校を出発し、約35kmの道のりを各自のペースでゴールの秋保温泉をめざします。ゴール後の爽快感と豚汁や入浴は格別です。



強歩大会スタート地点

(4) 交通アクセス



校門のすぐそばに仙台市地下鉄東支線「連坊駅」があります。遠隔地からの通学も大変スムーズです。令和5年度の調査では、約55%の生徒が連坊駅を利用しています。

4 在校生からのメッセージ

3年 大島優花さん(石巻市立山下中出身)からのメッセージ
私は高校から始めたヨット競技とSSHでのカタツムリについての研究活動で、共に全国大会に出場しました。仙台一高では互いに高め、励まし合える仲間と、学業や部活動・学校行事など全てに全力で取り組み、充実した3年間を送ることができました。中学生の皆さんも、新たなことに自ら挑戦できる一高で、可能性を広げましょう。

3年 藤澤隼匡さん(気仙沼市立松岩中出身)からのメッセージ
私は高校から始めた弓道で全国大会に出場したほか、学習面では各々強みの異なる友人たちと切磋琢磨し、良好な成果を得ている。仙台一高は生徒の「やりたいこと」に全力になれる場所だ。だが一高の最大の魅力は真の一高生のみぞ知る。ぜひ君自身の目で確かめてほしい。さあ君も互いに個性を認め、高め合えるこの環境で、日々夢に向かって邁進しようではないか！